

令和6年度事業報告書

令和6年8月1日～令和7年7月31日まで

公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金

1. 事業報告

令和6年度は、施設「チャイルド・ケモ・ハウス」の滞在者数や利用希望が昨年度よりさらに増える中、24時間365日の支援体制を確保し小児がん等の難治性小児疾患の患児と家族を受け入れ支援の質、量を充実させていった。看護師・保育士等の専門職と経験者や事務局スタッフらが連携し、滞在者、退居者等の家族への相談支援、こどもへのあそび支援等に力を注いだ。また、小児慢性特定疾病の自立支援事業においては、滞在者以外でも立ち寄れる居場所づくりに注力した。広報・チャリティー活動では、11回目のチャイケモウォークを実施し、支援者と滞在者や経験者が一同に会す機会となった。また、こども家庭庁の「内閣府特命大臣表彰」を受賞し、11年間の活動に一定の評価を得られた。

2. 事業の実施に関する事項

【公益目的事業】

（１）小児がん等の難治性小児疾患の患児とその家族が滞在できる施設の設置・運営

①滞在室の管理及び滞在者の受け入れ

【実施期間】 令和6年8月1日～令和7年7月31日

【実施場所】 兵庫県神戸市中央区港島中町8丁目5-3「チャイルド・ケモ・ハウス」他

【従業者の人員】 19名

【事業の対象者】 小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

全国から当ハウス周辺の高度医療施設に治療を受けに来た難治性小児疾患患児とそのきょうだいを含めた家族の滞在を受け入れた。19室の滞在室の部屋管理も実施した。

滞在家族数（実数）	144 家族
滞在家族利用数（延べ）	370 家族
滞在延べ合計日数	5996 日
患児利用数（実数）	98 人
患児利用数（延べ）	451 人（日中のみ利用も含む）
きょうだい利用数（実数）	83 人
居室稼働率	86 %

②ファミリーサポート事業等

【実施期間】 令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 7 月 31 日

【実施場所】 兵庫県神戸市中央区港島中町 8 丁目 5－3 「チャイルド・ケモ・ハウス」 他

【従業者の人員】 19 名

【事業の対象者】 小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

滞在者への相談支援においては、夜間に病院から帰ってきた家族に、十分な配慮の上で話を聞いた。相談内容によっては時間を設けて相談を受け付けた。また、当ハウス退去後の家族（ターミナル期・グリーフケアを含む）に対して、相談しやすい関係性を築き、訪問しやすい環境を整えハウスにふらっと寄りやすい工夫をしている。場合によって自宅訪問も行った。

また、入院中の患児を支える家族は、全国各地から当ハウスに滞在に来られる。入院中、退院前、退院後など様々な相談に対応しているとともに治療費や交通費以外に 2 重生活によってかかる経済的負担を少しでも軽減するため、寄付でいただいた生活物品やレトルト食品等の提供、他団体とも連携して手作りの食事の提供している。また、家族間の交流や家族がほっとする時間・空間の提供、治療のことを少し忘れて家族みんなで楽しめる季節のイベントなども実施した。きょうだいも家族バラバラの生活になり寂しい思いや不安を抱えていることも多いことから、滞在者への支援として、きょうだいの遊びや見守り、精神的サポートを実施した。

ア 滞在者相談・支援利用数（延べ）

・支援患児	555 人
・きょうだい	852 人
・母	1754 人
・父	553 人
・その他	215 人
・支援回数延(家族毎)	2214 家族

イ 退去後相談・支援利用数（延べ）

・支援患児	70 人
・きょうだい	44 人
・母	125 人
・父	59 人
・その他	0 人
・支援回数延(家族毎)	146 家族

ウ ファミリーサポートイベント参加者数（食事提供、えんにち、実験教室、写真館、美容室等）

・食事提供	85 回
・ホッとカフェ	8 回
・写真館	12 回
・美容室	1 回
・さんぽ	5 回
・その他	7 回
年間	118 回

③滞在環境の改善等

【実施期間】令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 7 月 31 日

【実施場所】兵庫県神戸市中央区港島中町 8 丁目 5－3 「チャイルド・ケモ・ハウス」他

【従業者の人員】10 名

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】滞在環境の改善のひとつとして、滞在室のメンテナンスや改修を行った。

- ・滞在室改修工事 9 室
- ・共有部全改修（空調等吸排気等改修を含む）
- ・空調等吸排気等改修 6 室

④財源確保

上記の事業の実施にあたって、その財源を確保するため、資金調達活動を積極的に行い、また、上記②の実施にあたり特定資産積立準備金等を活用した。

【実施期間】令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 7 月 31 日

【実施場所】兵庫県神戸市中央区港島中町 8 丁目 5－3 「チャイルド・ケモ・ハウス」他

【従業者の人員】19 名

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

公益目的事業（１）の事業は、

- ・公益財団法人東京コミュニティ財団の「子ども笑顔応援基金」 様
- ・公益財団法人神戸やまぶき財団 様
- ・住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」 様
- ・米日財団様

の助成金を活用させていただき実施した。

（２）小児がん等の難治性小児疾患の患児とその家族を支援する団体等に対する助成

①個人助成

【実施期間】令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 7 月 31 日

【実施場所】 チャイルド・ケモ・ハウス

【従業者の人員】 11 名

【事業の対象者】 患児及びその家族

【実績】

小児がん等の難治性小児疾患の患児の治療環境ならびに QOL を改善し、患児が心身ともに健やかな日常生活を営むために、当法人が必要と認める範囲内において、助成として、滞在費の一部の減免を行った。

減免延家族減免日数 2 1 6 2 日

②団体助成

【実施期間】 令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 7 月 31 日

【実施場所】 大阪府・兵庫県

【従業者の人員】 11 名

【事業の対象者】 応募団体

【実績】

大阪府・兵庫県域において、小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族を支援する活動（事業）を行う非営利団体に対し、予算の範囲内で事業費の一部を助成することを検討し、また、必要に応じてチャイルド・ケモ・ハウスの利用も併せて検討した。

（３）小児がん等の難治性小児疾患の患児とその家族を対象とした診療所の経営

【実施期間】 令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 7 月 31 日

【実施場所】 兵庫県神戸市中央区港島中町 8 丁目 5－3 「チャイルド・ケモ・ハウス」内

【従業者の人員】 11 名

【事業の対象者】 小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

チャイルド・ケモ・ハウスの運営の一環として、チャイルド・ケモ・クリニックの経営の再開の検討を行った。これまでは外来、入院、往診にて生活面も視野に入れた福祉的なサポート及び、家族のサポートも行ってきた。ただし、診療所については、2022 年 3 月末をもって管理医師が退職し、当面、休止とした。再開に向け管理医師確保と周辺病院との連携に努めている。

（４）小児がん等の難治性小児疾患の患児とその家族を対象とした相談支援事業

【事業内容】

療養、学校生活、家族の生活等についての相談、きょうだいの支援等について、学校・地域、関係機関と連携しながら実施しつつ、居場所づくりにも取り組んだ。長期にわたる支援

体制の確立、相談支援に関わる人材の育成にも取り組んだ。

① 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

【実施期間】 令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 7 月 31 日

【従業者の人員】 11 名

【実施場所】 兵庫県、大阪府他

【事業の対象者】 小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

- ・相談支援：神戸市・尼崎市より委託を受け、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業を実施した。学校生活や日常生活上での困りごとなど相談内容に関わらず様々な相談を受けた。入院中から退院後まで子どもと家族が安心して過ごせるよう、子ども・家族に寄り添いながら支援をすることを大切にしている。
- ・居場所づくり「よりみち」：子どもと家族が安心して気軽に寄ることのできる居場所として実施している。年齢や疾患に関わらず、それぞれが楽しく自由に過ごすことができ、気軽に相談もできる場所を目指している。

年間相談件数 延べ 151 件（学習支援も含む）

よりみち開催回数 81 回

よりみち利用者 延べ 520 人（神戸市・尼崎市以外も含む）

②人材育成

【実施期間】 令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 7 月 31 日

【従業者の人員】 11 名

【実施場所】 兵庫県、大阪府他

【事業の対象者】 小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

長期療養中の子どもや、重い病気や障がいをもつ子どもと家族の現状や想いを広く知っていただくための取り組みを実施している。小中学校で実施する「がん教育」や、子どもと家族に関わる活動フィールドをもつ方を対象にした「あのねサポーター養成事業」、店舗を対象とした「みえてく PROJECT」などを通し、病気や障がいをもつ子どもと家族や誰もが暮らしやすい社会づくりを目指し取り組んだ。

また、ボランティア育成のためのボランティアオリエンテーション、ボランティア同士の交流を図り、活動をより良いものにするためのボランティア会も実施した。

・あのねサポーター養成講座	5 回	参加者	34 人
・あのねサポーター交流会	2 回	参加者	15 人
・みえてく PROJECT 講座	0 回		

・がん教育	6回	参加者	510名
・看護実習等受け入れ	2回	参加者	9名
・ボランティアオリエンテーション	4回	参加者	37人
・ボランティア交流会	8回	参加者	延べ31人

③その他

【実施期間】令和6年8月1日～令和7年7月31日

【従業者の人員】11名

【実施場所】兵庫県、大阪府他

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

自立支援事業の対象年齢から外れた子どもへの継続した支援、自立支援事業の対象地域以外の入院治療中や在宅療養中の子どもが楽しめる時間の提供を実施した。

・訪問支援	1人	延べ訪問回数	20回
・おへやでピクニック	4回	参加者	22人

公益目的事業（４）の事業は

神戸市共同募金会「地域の子ども福祉のための助成」様

一般財団法人MDRT日本会様

中央募金会「前田和子基金 重症児等と家族に対する支援活動応援助成」様

の助成金を活用させていただき実施した。

（５）当法人の活動の趣旨等を広く周知していくための活動や資金調達のためのチャリティイベントの開催及び参加

【実施期間】令和6年8月1日～令和7年7月31日

【従業者の人員】11名

【実施場所】兵庫県、大阪府他

【事業の対象者】公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金の活動を応援していただいている個人及び団体。

【実績】

①チャイケモウォークの開催

チャイルド・ケモ・ハウス チャリティウォーク2025（主催）を令和7年5月に開催した。

②チャリティイベントへの参加等

企業や団体等が行う催物へのブース出展を行い当団体の取り組みの紹介や寄付の呼びかけを行った。その他当施設への視察などの対応を行った。

・チャイケモウォーク参加申込数	1129 人
・チャイケモウォーク参加者	902 名
・チャイケモウォーク参加・協賛団体	27 団体
・視察・見学等	12 回

公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金の事業全体を対象に
神戸市ふるさと納税補助金 様
の補助金を活用させていただき実施した。

3 各事業年度における公益目的事業の実施状況

令和6年度公益目的事業の実施状況は令和6年度事業計画書に記載された事項の取組事業計画に沿って公益事業を実施した。また、定款に基いた項目で事業報告に記載している。

上記「2. 事業の実施に関する事項」に実施期間、従事した職員の数、実施場所 事業の対象者と実績を報告している。

4 運営体制の充実を図るための取組

経理的基礎を欠くことの無いよう、外部監事について公認会計士を選任している。加えて外部監事とは別の公認会計士に経理的事務等を委託している。

少数ですが、理事とスタッフ数人については内閣府等の研修を受講した。

月1回常勤理事とスタッフ全員で全体会議を開催し、事業毎の進捗状況、方向性と課題について情報共有し、効率的で安定した公益目的事業の実施を図っている。